

第239回例会 2013年度総会

日時 4月20日(土) 受付 11:15～ 総会 11:30～12:30 懇親会 12:40～13:30
場所 中央電気倶楽部 会員特別食堂

〒530-0004 大阪市北区堂島浜2丁目1番25号 TEL:06-6345-6351(代) (地図は別ページ)

懇親会費 4,500円 飲み物は個人清算

お申込み締め切り:4月10日(水)までに同封はがき又はメールで協会事務局までお申込みください。
4月18日(木)以降お取消の場合は会費全額をいただきます。

第237回例会の報告 クリスマス例会



第238回例会 タウマルヌイ高校生との交流会



2013年2月19日発行会報

第237回例会「クリスマス例会」の報告

第239回例会 2013年度総会 中央電気倶楽部



第240回例会 ラム肉料理&試食会のご案内

日時：5月25日(土) 10:30~13:45

場所：こうべ市民福祉交流センター 調理室

「三ノ宮」駅より徒歩15分/

ポートライナー「貿易センター前」から徒歩5分

市バス7系統「市民福祉交流センター前」正面

プログラム(予定):

10時00分 受付開始

10時30分 班に分かれて調理開始

11時45分 試食タイム

13時00分 あとかたづけ

例会費：2,000円(当日お支払ください)

飲みもの：BYO(各自ご持参ください)

当日の連絡先：090 1952 9370 呉橋携帯

お申込最終締切：5月17日(金)までに事務局へ。

エプロンご持参ください。



12月22日(土)、神戸外国倶楽部においてスペシャルゲストに樺田真須子(くぬぎだますこ)さんを招いてクリスマス例会が盛大に行われました。樺田さんは、神戸女学院卒業、京都市立芸大修士課程修了、英国マンチェスターの王立ノーザン音楽大学のプロフェッショナル課程修了、英国でプロ歌手として活動後帰国、国内外のオーケストラとの共演、オペラ出演、定期的なりサイタルでご活躍です。

松元副会長の司会により、樺田さんの指導、村上祥子さんのピアノ伴奏でNZ国歌斉唱から会は始まりました。呉橋会長から開会の挨拶を頂いた後、吉田恵さんに時計測係をお願いして全員の30秒トークで楽しい自己紹介がありました。退職後にも「きょういく」(今日、行くところがある)と「きょうよう」(今日、用事がある)が大事というお話はとてもよく理解できました。

食事サービスが開始され、デザートタイムにプレゼント交換が行われました。その後、早川藍香さんによるピアノ伴奏で樺田真須子さんのソプラノ小リサイタルを楽しみました。

アルディーティ:イル バッチョ(くちづけ)

カッチーニ:アヴェ・マリア

武満徹:小さな空

村上祥子さん ピアノソロ リスト「愛の夢」

オペラ「椿姫」より “ああ彼なのね～花から花へ”

ミュージカル「マイフェアレディ」より “踊り明かそう”

その後クリスマス例会で定番になったマオリの子守歌ヒネエヒネを樺田さんの指導で歌いました。歌の後は、これも定番になったビンゴです。行天夫妻、外山夫妻のリードで行われました。

最後に村上祥子さんの伴奏で「聖しこの夜」を歌い、柳田名誉会長に閉会のご挨拶をいただきました。

オークションによる収益金は31,850円と過去最高の金額になりました。たくさんのご出品いただきありがとうございます。

クリスマス会の様子を編集した動画をインターネットで公開しています。下記のURLでご覧になれます。

<http://youtu.be/6ZNhQ5JpvMA>

参加者(着席順・敬称略)

Aテーブル:樺田真須子、早川藍香、松元昇、貴志康弘、

高崎映三、高崎岐世子、永田美夜子、西川賢一、

Bテーブル:呉橋真人、桑原耕治、藤村琄子、藤村絵里、

三浦治郎、村上祥子、外山純、外山佳子、

Cテーブル:木嶋征久子、市来桂子、阿武とき子、平戸ヨウ

子、津村政美、貝原由美、森川和代、難波ヤス子、

Dテーブル:杉原千鶴子、橘峰子、森田春美、辻本加寿子、

古賀一美、萬野満里子、梶山陽子、行天幸子、行天茂夫、

Eテーブル:奥野佳恵、宗佐保、中谷紀子、正木紀通、柳

田勘次、山下芳夫、吉田恵、

Fテーブル:松元美智子、森村怜子、野田貞子、野田佳之、

早川伸一、永江まり子、森山美代子、山野敏子、興津芳子、

G テーブル: 石井久行、太津隆司、辰馬幸子、林園子、林弘子、埴幸子、牧初代、山田輝子、大矢昇

第 238 回例会「タウマルヌイ高校生徒の交流会」

大阪歴史博物館 4 階の第一研修室を借りて開催されました。

タウマルヌイ高校紹介スライドショー、全員小さなスピーチ、連風作成、歴史博物館案内(この最上階で大阪城を眺望)を行いました。その後、よさこいダンス指導、タウマルヌイ高校のハカの練習をして外へ出ました。木枯らしが吹く中でしたが、全員で元気に連風揚げを行い、よさこいダンス、ハカを楽しみました。

交流会に参加した人たちによるハカとよさこい踊りの様子はインターネットで公開しています。タウマルヌイ高校ハカは下記の URL でご覧になれます。

<http://youtu.be/Y4un7W-pfks>

よさこい踊りは下記の URL です。

<http://youtu.be/7EHGGKx-HvE>

参加者(敬称略・五十音順)

■タウマルヌイ高校グループとホストファミリー

Phil フィル先生、行天茂夫、幸子(会員)

Ian イアン先生、Joshua ジョシュア、古賀一美、川久保美由紀、川久保初音、川久保明音

Belinda ベリンダ、Jessica ジェシカ、外山純、佳子(会員)、桑原耕治(会員)

Tyrell タイレル、Francis フランシス、福本伴子

Hannah ハナー先生、Xena ジーナ、Cheyenne シャイアン、藤村琇子、絵里(会員)

Samantha サム、Skyla スカイラ、村上圭二、祥子(会員)

■金岡高校OBグループ(以前タウマルヌイ高校と交流)

岸本修武先生、井上朋美、内村文子、河合佑香

■イアン先生の友人

山地裕美、山地勇太、山地慶吾

■よさこいダンス指導

南 巳沙貴、よさこいグループ“風鈴”の皆さん

■日本ニュージーランド協会(関西)

磯部勢津子、佐藤真砂子、高崎映三、山口剛生、山下芳夫、貴志康弘、呉橋真人、林園子、松元昇、山田輝子

ホストファミリーの皆様、ご苦労様でした！

ホストファミリーからのお便り

福本 伴子さん

このたびは私どもにホームステイ受け入れのチャンスを下さいまして本当にありがとうございました。彼らと短くて残念でしたが、楽しい3日間を過ごしました。

我が家の息子達もNZにはホームステイの経験があり、久しぶりにみんなでNZの話に花が咲きました。26日には奈良公園、大仏殿と若草山の山焼きを異常な寒さの中で見学し、印象に残った一日ではなかったかと思えます。

この日の過ごし方についてはいろいろ家族で話あいましたが、本人たちの希望を聞くのが一番、ということになり、聞いてみましたが、16、17才の子たちには特別なアイデアもなく、知り合いのアメリカ人の勧めでくれた大仏さんコースとなりました。

私の英語能力ではこの年齢のこどもの、日常会話が一番楽しかったように思います。でも、せっかく日本語を勉強しているのにその点ではお役にたてませんでしたね。できるだけ日本語を使うべきだったのかと、迷うところではありません。

でも本当に素直な生徒さんでとても扱い易かったですよ。自室に引きこもらず、リビングでテレビをみたり、自分でお茶を入れたり、好きなようにやってくれて良かったです。

さすが、現代の子たち、ホームシックもなければ、毎日のメールチェックやフェイスブックも欠かさず、海苔も平気、お箸の使い方も上手、味付けもことさら塩こしょう、ケチャップを使うわけでもなく、ホームスティもグローバルになってきたかな、と思いました。

じつは私も7年前から毎年イギリスの家庭にレッスンつきのホームステイにでております。去年初めて、Ipadを持参したところ、インターネットもヤフーのニュースも日本語でキャッチ出来てしまい、かえってホームステイの良さを損なってしまったのでは、と今年は持参するのをやめようかと思うほどです。IT機械は便利ですが、世界を狭くしてしまうかもしれませんね。

彼らの滞在を通して、自分のホームステイへの思いもまた見つめるチャンスとなりました。NZを訪れるチャンスがあれば、また行ってみたいと心を新たに致しました。最終日の関西空港でまたお会いになる時間があれば、TyrellとFrancisに「来てくれてありがとう。また、待っています」とお伝えください。

外山 純さん

15,16歳の子供であり、旅行行程は学校作成ということから目的意識が明確で無かった。もう少し好奇心をもって見たいところなどを積極的に出してほしかった。

食事内容は、事前に呉橋会長からアドバイスしていただいた通り、NZの味や食材などにこだわっていました。シリアルには缶詰めフルーツとオレンジジュースをかけることも。ミルクよりもオレンジジュースのほうが多く消費されました。

総じてお好み焼きソース、マヨネーズとトマトソースがあればなんでもOKでした。白いご飯にマヨネーズとお好み焼きソースで美味しく食べていました。ギョウザの皮つつみを共同作業してホットプレートで焼いて食べた時も、最初に進めたポン酢よりはソース&マヨでした。ポテトチップス、チョコ菓子、ポッキーなどのスナック菓子にはすぐに手をだしていました。

ショッピングについても学生であることからお土産を買い

あさることはなく、値段と相談して女の子らしい装飾品を求めていました。ダイエーやショッピングセンターのクレーズ、百えんショップが人気でした。スーパーの店頭にある特価スナック菓子は大好きでした。

お二人はアウトドア活動を日常とし、テレビを見る時間は短く、就寝時刻も21:00過ぎには消灯して静かでした。強行日程で疲れていたからか、11～12時間の睡眠時間で私達の生活リズムが変わることは無く、負担には感じませんでした。

洗濯ものは遠慮なく出してくれて家族と同様に扱いました。金・土・日曜日も仕事などが左右されない日程でよかったです。

会話をしようと意気込まないで、好きな食べ物をよく聞いてその通りを提供して、ほったらかしておけば良いでしょう。我が家の近くにある「グリコピア」というポッキーの製造過程を見学させる工場には喜んでいました。

藤村 瑠子さん

ホームステイ、問題無く過ごせて何よりでした。我が家の三人は先生の方が子供、生徒の方が礼儀正しく出発時の後片付けも完全でした。

先生はベッドから抜け出したままで笑ってしまいました。と言っても、三人ともにいい子で気持ち良く過ごしました。食事も喜んでくれましたが、体ほどは食わず絵里が何であんなに肥るの？と不思議がっておりました。

先生と生徒の関係もまるで友達同士、日本での行動は生徒の方がしっかり話してくれました。三人居ればほっておけるし気楽でした。喜んでいてくれれば嬉しいです。

村上 祥子さん

今回、念願のホストファミリーを初めて経験することが出来、とても満足しています。二人の名前は Samantha と Skylar。とても明るく人懐っこい性格でしたので、あまり気を遣う必要がなく、お互いにとっても打ち解けて過ごせたと思います。また、二人はお味噌汁などの日本食も何でも残さず食べてくれたので助かりました。（量は日本の女子高生よりかなり多いと思います）

【初日】駅のプラットホームでお迎えしました。バックパックかスーツケース、どっちで来るのかなーと思っていたら、両方ともパンパンで超重量でした。

この日の夕食メニューは焼きそばと春巻きと中華スープ。手を合わせて「いただきます」と「ごちそうさまでした」を言ってくれました。食べる前にお土産を差し出してくれたので、食後に開封しました。それぞれがかなり沢山（カレンダー、ボールペンセット、トレイ、小さなオブジェ、チョコレート菓子など他にもいっぱい）くれたので、ちよっとびっくり。

10 畳の部屋に二人。ミニキッチン冷蔵庫にコココーラ、オレンジジュースなどの飲み物を数種類揃えてセルフ

サービスにしておきました。トイレの大小ぐらいいは読めて意味も分かっているだろうと思いましたが「I don't know.」だったので、日本語での会話はほぼ無理だなと思いました。

【2日目】まず、洗濯したい物を全部出してもらって、バルコニーが彼女達の部屋にあるので洗濯物を干しに入ると、ここはサウナか？と言う位暑く、リモコンを見ると何と！！32℃でした。てっきり操作の仕方が分からなくて間違えたのかと思ったら「日本がこんなに寒いとは思わなかった」と。天気予報でこの日からこの冬一番の寒波が襲ってくるというので、毎朝カイロを貼ってあげました。彼女達は日本の私達でいえば 10 月中旬位の薄着の用意で来ている様子でした。数日後に行く予定の札幌での彼女達が少し心配になりました。

午前中は、徒歩7～8分のところにある私の実家へ。私の母が茶道教室をしており、私がお点前を披露して茶道を紹介しました。2人は日本の茶道については知らなかったようです。和室に入り「Sit down, please.」と言うと、二人が迷いもなくサツとあぐらをかいいたので、思わず笑ってしまいました。彼女達は和室での正式な座り方が正座ではなく、あぐらだと思っていたのかもしれない。

Skylar のスーツケースの車輪が壊れたので、イアン先生に報告してから新しいものを買いに午後は近隣のショッピングモールへ行きました。ユニクロや 100 均などもぶらり。中でも二人とも靴屋が気に入ったようで、2 軒をはしごして Skylar は2足、Samantha も 1 足買いました。お土産のお礼に主人からスーツケースを、私からは靴下や下着や毛糸の帽子を買ってあげました。

帰る道すがら、カラオケに行ってみたいか聞くと「Ye～s, plea～se!!」とすぐ行ききたそうだったので、夜はカラオケへ。年に一度も行かない私はリモコン画面に『English』とあるのに感激しました。彼女達は写真をお互いに何枚も撮り合い、ノリノリで歌いまくっていました。また歌も非常に上手でした。

【3日目】ニュージーランド協会の歓迎会へ。

高校生たちがハカを披露してくれたのですが、その最初の掛け声を Samantha がしていたので、身長 175cm 大の彼女がよりしっかり者に見えました。またその後で、皆で外に出て連風をあげたのですが、その風を引っ張る役を誰にしようかと、呉橋さんが「Who is the strongest boy?」と言った瞬間に Skylar が手を挙げて「I am!」と言ったのには皆大ウケでした。

Samantha は学級委員長的な一方で、Skylar は遊びのリーダー的存在と、なるほど二人は良いコンビなのだな～と納得しました。

帰りに男子生徒二人とそのホストファミリーの方 3 人と私達 4 人で道頓堀に大阪見物へ。グリコの看板やカニ道楽の前で写真を撮り、たこ焼きを食べるといったお決まりの食べ歩きコース。戎橋の別称「ひっかけ橋」の事を主人が「This is the place where guys ask girls out. 『Hey, you! Come with me!』」とおどけて説明したら、Skylar が男友達を

指して「You! You!」と言ったので、多分意味が通じたのでしよう。

夕食は焼肉屋へ。彼女達は食べ物の中で一番好きなのが「肉」だと。ビビンバも「Good!」と気に入って食べていました。

滞在中は彼女達の部屋にノートパソコンを自由に使えるようにと置いていたので、どうやらその日その日の写真をFacebook にアップし、友達とのやり取りを楽しんでいたようです。

【最終日】やっぱり寒さが気になったので、残りの日数分のカイロを持たせました。

プラットホームでお別れするつもりで電車を待っていたら、Skylar が・・・「カメラの SD カードをパソコンに差し込んだまま忘れてきた!」と。

その場で、夕方に梅田で待ち合わせて渡すことに決めて「今、バイバイではなくなったね! See you in the afternoon! (笑)」

二人の将来の夢を聞きました。Samantha は刑事に、Skylar はアパレル関係の仕事に就きたいとのことでした。Skylar はいつも綺麗にお化粧をしていました。(Skylar のお父さんはタウマルヌイ高校の校長先生だそうです。)

あっという間の3日間でしたが、今後はもう少し長期滞在のホストもやってみたいと思いました。ユースホステルなどでの宿泊が多い中、少しでも快適に居心地良く過ごせて貰えたら、と思い準備をしましたが、次回までにはもっと英会話がスラスラ出来るように勉強をして、言葉でも‘おもてなし’が出来れば尚良いだろうと思いました。

ありがとうございました。

行天 幸子さん

北島のほぼ中央にニュージーランドの最大の湖、タウポがある。TARUMARUNUI は、そのタウポから西に約 1 時間ほど車を走らせた小さな町。何度か車で通ったことがあるが、大自然の中に包まれた素晴らしい町で一度はゆっくりと立ち止まり、静かな時を過ごしたいと思う。少し足を伸ばせば、皆さんご存知のロトルア、ワイカト、等の観光地にも小旅行が出来る。

今回は、生徒 8 名、先生 3 名の日本訪問。1 ヶ月かけた沖縄～九州～広島、関西～関東～最後北海道のツアー。

その中の、1 月 26 日～28 日までの 3 泊 4 日の短いホームステイでした。

長い旅路の疲れも出ている頃だと判断して、少し休養もとっていただきたいと考えて遠出は避けて、近くの明石の魚の棚、明石大橋のプロムナードなどを散歩。事前の情報にたこ焼き(明石焼き)に興味を持っていたので立ち寄ると大変喜んだ。

特に食事についても、刺身、納豆、のり、梅干まで好きだと言っており、「いつも召し上がっているものにして下さい。普段の通りに。」と希望されており、特別なメニューもなく日本食中心でした。

午後は、ニュージーランド好きの友人も我が家に招いて、ウェルカムパーティを 14 名で大変賑やかに時の過ぎゆくことも忘れる程、みなさん楽しむ事が出来た。

又、翌日は協会の例会のために大阪歴史博物館を訪れ、見学と連風あげを楽しむ。最後はよさこい踊りとハカをメンバー全員で踊り楽しい中で修了。

この日は、この冬一番の寒さのために手足は凍るようななか、皆笑顔ではしゃいでいた。

この後、東京、北海道でも楽しまれたことでしょう。

新入会員紹介

山下 芳夫(やました よしお)

約 16 年前娘が NZ の高校・大学へ留学したのがきっかけです。以来、ホストファミリーと長い付き合いが続いています。13 年前早期退職し、フリータイムを楽しんでいます。

酒井 香代子・道雄(さかい かよこ・みちお)

長女がキウイファンになり留学・教員免許を取って採用されたのが縁で NZ に定住したので、再々訪問するうち私達もファンになり毎年訪問しています。

城島 康子(しろしま やすこ)

幽霊会員になるかもしれませんが、よろしく。(東京都多摩市の方です)

外山 純・佳子(とやま じゅん・けいこ)

シンガポール勤務中に休暇を利用して NZ ツアーをしました。クイーンズタウンでのヘリコプターに息子たちが大喜びしていた思い出があります。

NZ ニュースクリッピング

ニッポン人が知らない世界のジョーシキ「ニュージーランド」

アリ 罰金といえば、ロシアは違反をしても罰金はないんですよ。警察官にお金を握らせて目をつむってもらうから(笑)。

ジェシ 賄賂ね(笑)。

アリ 給料が安いから、ためらいなく受け取るわよ(笑)。でも、払う側もお金を渡せば違反に問われないから、両方も得なのよ。

ジェシ それはステキ! ニュージーランドは、自転車のヘルメットをかぶってないと罰金を取られるわ。

アリ バイクじゃなくて?

ジェシ そう。自転車に乗る時は大人でも子供でもヘルメットの着用義務があるから、かぶってないとパトカーがすぐ寄って来る。罰金は日本円で1万円くらいかな。だから、みんな絶対にヘルメットをかぶるわね。

アリ 大変ね。日本も自転車で飲酒運転があるけど、ロシア人は自転車に乗らないからわからないわ。マイナス30℃で自転車になんて乗れないもの。

ジェシ そうだ！ 飲酒運転といえば、基準がアルコール度数ゼロっていう日本は厳しいと思わない？ ニュージーなら最初の1時間は350ミリリットルのビールなら3杯までは飲んでオーケーで、あとは1時間ごとに1杯くらいなら大丈夫よ。

アリ ロシアはウォッカ1杯までならOK。ビールは、ロシアでは前までお酒に分類されていなかったから、運転してもよかったの。

ジェシ そうなんだ。こんなに厳しいのは日本人の肝臓が弱いせいね。日本は住みやすいけど、そこだけがネックなのよね？

アリ 住みにくいといえば、日本はタバコを吸える場所がほとんど減っているでしょ。ニュージーランドはどうなの？

ジェシ 消費税が高いからっていう理由もあるけど、ニュージーランドはタバコがすごく高いわね。1箱で1500円くらいかな。

アリ 高っ！ 日本は400円くらいだったかしら？

ジェシ ニュージーランドは、2025年までに国全部を禁煙にしようとしているから、タバコの値段をどんどん上げているのよ。

アリ そうなんだ。その点、ロシアは違いますよ。タバコとアルコールは税金がとっても安いんです。みんなが気軽に飲めて吸える。だから、政治家でも悪党でも、みんな老人になったら早死にするので、高齢化社会にならないんです(笑)。

ジェシ アハハ、ブラックだなあ(笑)。

アリ たくさん飲んで、たくさん吸って死ねってことよね(笑)。

だって、タバコの値段は日本の半分よ。

ジェシ タバコの値段って国によって全然違うわよね。ニュージーランドは2016年までに、さらに値段を上げるのよ

アリ みんなどうするの？

ジェシ やめちゃうわね。

アリ じゃあ、日本人でタバコをやめたい人は、病院じゃなくてニュージーランドに行きましょう！

ジェシ それ、いいね！ 自然が豊かだし、気持ちいいし、最高ですよ。

アリ 逆に、お酒を飲んでタバコを吸いたい人はロシアに行きましょう(笑)

ジェシ 変なお祭りは他にもあるの。ダニーデンっていう町ではチョコ祭りがあって、エンディングでは急勾配の坂からチョコレート転がすの。

ジャス 何で？

ジェシ 町に大きなチョコレート工場があるからなんだけど、何でもかんでもチョコに結び付けて楽しむの。巨大なチョコの彫刻やチョコレートの家があったり、巨大チョコの壁を登るタイムレースなんかもね。

ジャス 「ヘンゼルとグレーテル」の世界みたいだね。

ジェシ それで最後にチョコを坂に転がすレースをやるの

よ。オレンジ味のジャップアっていうチョコなんだけど、ニュージーランドにしかないのよね。

ジャス 日本で売っていないものがあるのは珍しいよ。

ジェシ でしょ？ どこかで売っていないかしらね。

ジャス やっぱニュージーランド人は、何でも楽しむっていう点では、クリスマスもお祭りにしている日本人と似ているよ(笑)。

ジェシ 真面目ばかりだと息が詰まっちゃうから、楽しむって大事なことなのよ。あとね、タイハペという町では長靴の祭りがあるの。みんながふだんから長靴を履いて生活してるような田舎なんだけど、そこでは年に一度、トロフィーをもらうためにガチで長靴を投げる練習をしているの。

ジャス その町には大きな長靴工場でもあるの？

ジェシ そう思うわよね。でも、ないの(笑)。何も無い町だから長靴を使って祭りを始めたら評判になってわざわざ見に行く人がいるくらいなのよね。

ジャス お祭りって町おこしの部分もあるからね。今は海外から来た人がネットに書いて世界に広がるし。

ジェシ そう。だからニュージーランドの国外からの観光客も意外と多いのよ。逆にニュージーランドですごく話題になってる日本のお祭りもあるのよ。

ジャス 何ていう祭り？

ジェシ 愛知県の小牧市でやっている豊年祭っていうお祭り。大きなチ○コに乗れるっていうのでニュージーランドで大評判よ(笑)。

ジャス それは乱交パーティなの(笑)？

ジェシ 大きな木がチ○コの形に削られていて、それを御神輿のように担いでるんだけど、そこにまたがると子宝に恵まれるの。でも、そんなことは外国人にはわからないでしょ？ 見た目がスゴイ光景だから、みんなが写真を撮ってフェイスブックにアップしまくってるの。それで今、ニュージーランドでは、日本でいちばん有名なのがそのお祭りなのよ。

ジャス 日本人の何でも祭りにして楽しんじゃう精神には頭が下がるよね(笑)

南太平洋地帯で行きたい都市の第1位オークランドに

オーストラリア、ニュージーランドを含む南太平洋諸島の国々の中で、旅行者が最も訪れたい都市にオークランドが上がった。

シドニー、ボラボラ、フィジーのヤサワ島を敗って、2012年のトラベルアワードに選ばれた。ロンリープラネットはオークランドに1等のレートを与えている。オークランド・ツーリズムのイベントマネージャは、オークランドが国際的な旅行先として成長した証拠、と喜びを語った。

2011年のラグビーワールドカップも大きな原因の一つになっているだろうとのこと。

生活 2012年10月25日

ニュージーランドの貧困率高

米国カリフォルニア大学の教育部門の教授 Greg Duncan

氏によると、ニュージーランドの貧困の割合は17パーセントと、OECD（経済協力開発機構）の平均よりも高いという。ここでは貧困は収入がその国の平均収入の60パーセントに満たない場合と定義されている。

貧しい家の子供たちは貧困から抜け出すことができるし、低収入の家の子供が必ずしも犯罪を犯したりするわけではないとDuncan教授は説く。しかし彼らは労働市場でのパフォーマンスがよいとは言えず、これは将来的な経済活動に大きく影響してくるとのこと。

集中的な早期の児童教育と品質の高い学校がこの問題を解くカギであり、スカンジナビアの例がそれを証明する、と教授は主張している。

社会 2012年11月19日

観光客の数減る

ラグビーワールドカップで多くの人がニュージーランドを訪れた昨年10月と比較して、今年の10月は観光客が激減した。年間観光客は0.6パーセント減少し256万人となった。

中国からの観光客は大いに上昇傾向にあるが、イギリス、日本、韓国からニュージーランドを訪れる人は減っている。

社会 2012年11月23日

移民者数上昇する

10月はニュージーランドへの移民者が増え、公式数値では季節調整値合計で260人増加の結果となった。

ただし年基準では2,300人の減少で、これは主に高給与とよりよい求職事情を求めてオーストラリアへの移住が主な起因となっている。

しかしオーストラリアへの流出は穏やかになりつつあり、イギリス、中国、インドからニュージーランドに移民する人の数と相殺されて急激な減少を食い止めている。

社会 2012年11月25日

不正の疑いにより学生ビザ発行差し止め

4つの専門学校で21の学生ビザの発行が、移民局から差し止めになった。これらは、National Institute of Studies, EDENZ colleges, Aotearoa Tertiary Institute, the New Zealand School of Business and governmentの4校。

疑わしい出席記録や学費の相違などが、不正として含まれている。

個別に移民局から詐欺の疑いで調査され、詐欺の疑いで実刑判決を受ける者もあるという。調査は2カ月に渡って行われる。

然しながら、これらの学校の他の800人余りの学生には問題はないとのこと。

社会 2012年11月27日

ルアペフまだ危険

ニュージーランド国内の地学調査を行っている組織GNS Scienceは、警告は出ていないが、ルアペフ山噴火の危険は依然として高いと発表している。11月初めから多くの地震が記録されているという。

最も最近のデータでは、ルアペフは未だに非常に高いレベルの活火山活動を行っているとのこと。GNS Scienceでは引き続きルアペフの監視を行う。

社会 2012年12月4日

Z発:低迷する羊肉産業に光明

「人間より羊の数が多し」というイメージがあるニュージーランド。しかし1982年の7千万頭をピークに減少の一途をたどり、現在ではその半分以上に留まり、牛の数が羊を上回るほどだ。低迷する羊肉の需要を少しでも拡大したいと、畜産農家では、ビジネス・チャンスを狙っている。

そんな畜産家に11月、朗報が舞い込んだ。ファストフード・チェーンの大手、マクドナルドのメニューに8月から加わった、ニュージーランド産ラム肉100パーセントのパーティ入り、「シリアス・ラム・バーガー」の売れ行きがうなぎのぼりだという。それは、2009年に発売され、大ヒットしたアンガスビーフを使った、「グランド・アンガス」の比ではないそうだ。

マクドナルズ・ニュージーランド社では、海外のチェーン店で使用するために、年に3億NZドル(約202億3千万円)を上回る酪農製品を、この国から輸出している。国内でのこのラム・バーガーの売れ行きが後押しし、他国でも売り出されることになれば、ラム肉も大量に輸出できると、畜産農家の期待はふくらむ。

このニュースと合い前後して、英国タブロイド紙、『デイリー・メール』のオンライン版、『メール・オンライン』に、「地球を救いたいなら、ニュージーランド・ラムを買おう」と国際農業研究協議グループ(CGIAR)の科学者が、英国国民に呼びかける記事が掲載された。CGIARの報告によれば、英国での飼育法で羊を育てた場合、ニュージーランドの約2倍もの温室効果ガスが発生するという。

1980年代の政府の方針変更で、ニュージーランドの農家は世界で最も少ない助成金での経営を強いられている。そのため、合理的な生育方法を取らねばならず、最終的にそれが温室効果ガスを英国ほど出さずに済む原因となっている。

『メール・オンライン』の記事に、英国のナショナル・ファーマーズ・ユニオンは遺憾の意を表明しているが、環境問題に敏感な英国人の中には、国内産ではなく、ニュージーランド産のラム肉を買い求める動きが出、マーケットが拡大する可能性も出てくるだろう。

さらに同時期、ニュージーランド国内の食肉加工業者、アライアンス・グループが独自の管理体制を組むことを条件に、英国のデパート、マークス&スパンサーと独占契約を

結び、今年のクリスマスから、南島産の冷凍ラム肉を出荷することになった。このように少しずつだが、ニュージーランド産のラム肉は国内ばかりでなく、海外にもその販路を拡大しつつある。

マスコミに載らない海外記事 2012年12月4日（火）

ニュージーランドの教育レベルと貧困問題

OECD のレポートによると、ニュージーランドにおける教育の成果は40カ国中8位と高いランクを示している。このレポートでは上位に位置する国々の共通点として、一般社会での教育の重要性認識と教師への尊敬が上がっている。

しかしニュージーランド教育機関（New Zealand Education Institute）の Paul Goulter 氏は、貧困が教育レベルの発達を妨げており、これはほとんどの教師や学校長も認識しているが、政府はこの問題に取り組もうとしないと訴えている。

社会 2012年12月5日

オークランドで竜巻

6日午後1時ごろ西オークランドで竜巻が発生しホブソンビルを直撃、3名が死亡した他、数々のダメージを残した。

建設現場で働いていた3名が命を奪われ、7名が負傷した。負傷した人のうち3名がオークランド病院で手当てを受けているが状態は安定している。4名は軽傷でノースショア病院に搬送された。

被災した建設現場で他の50名と共に働いていた配管工 Sam Nuttall さんは、仲間の2人が巨大なコンクリート板に直撃されるのを目撃した。

1人はトラックとコンクリート板の間に挟まれ、もう1人は板の下敷きになったという。がれきや鉄があらゆる所を飛び交って、「こんな天気は一度も体験したことがない」とコメントした。

約120軒の家屋が大きな被害を受け、約230名がファヌアパイ空軍基地に避難し被害届を出している。オークランドでは昨年5月も竜巻で1人が亡くなっている。

社会 2012年12月7日

「運転するイヌ」、ニュージーランドで話題沸騰

ニュージーランドのイヌは車を「追いかける」のではなく「運転する」——。オークランド（Auckland）の動物虐待防止協会（SPCA）が、こんな心温まるプロジェクトを実施して話題となっている。アニマルシェルターに保護された動物の里親を増やすのが目的だという。

トレーナーが2か月かけて、保護された3匹の雑種犬「ポーター（Porter）」「モンティ（Monty）」「ジニー（Ginny）」に、ハンドルの動かし方やアクセル、ブレーキの使い方、ギアの操作など10種類の動作を教え込んだ。すると、3匹は改造を施した小型車「ミニ（Mini）」を運転するまでに上達。飼い

主に見捨てられたイヌだって複雑なタスクをこなせるんだということを証明してみせた。

3匹が運転する様子は3日、ニュージーランドのテレビで放映され、インターネット上で人気を呼んでいる。

2012年12月7日 (c)AFP/DraftFCB

クライストチャーチ求人海外から応募多数

カンタベリーのあるリクルート会社の統計では、エクゼクティブレベルの仕事に関しては、応募者の70パーセント以上が国外からという結果が出ている。

最も人気があるのはソフトウェア開発やウェブデザインの仕事のようなIT関係と、測量などの建設に関連した仕事とのこと。このリクルート会社担当の話では、あるIT系の仕事に50人からの応募があったが、この中でニュージーランド国内からの応募は12人であったという。しかし雇用主は国内在住者の方を好むとのこと。

これら求職者の国籍は、アイルランド、インド、アジア諸国に加え、少数ながらオーストラリア、英国を含む。

社会 2012年12月13日

携帯電話が狙われる

オークランド市中心部では、携帯電話が盗難のターゲットになっていると警察では見ている。盗まれた携帯電話は、現金やドラッグと引き換えにされるといふ。

このような犯罪者はテーブルやハンドバッグの中のスマートフォンを、持ち主が他のことに気をとられている間盗み出すとのこと。その後盗んだ携帯を通りを歩いている人に売りつけようとする泥棒もいるという。通常は大変安い値段で売買される。

警察は、盗難電話のブロックング、レポート機能などの技術開発を通信会社と協同で進めている。

社会 2012年12月18日

1年の修士号コース認可される

1年で取得できる大学の修士号の資格が、この度政府から正式に認可された。通常修士号にかかる期間の半分に当たる。

高等教育相 Steven Joyce によると、短期で取得できる学位は海外からの留学生を大いに引き付けるとのこと。

大学側は、短期学位コースは学生に人気ですすでに来年度にこのコースを選択する学生もいるとコメントしている。

社会 2012年12月19日

健康を気づかう人の赤身牛肉「ニュージーランド牧草牛」 JT JAPAN が牧草牛のインターネット販売を開始

ビーフ アンド ラム ニュージーランド（東京都品川区 日本代表：ジョン・ハンドルビー）は、ニュージーランド産食材

をホテルやレストランに供給する JT JAPAN 株式会社 が、ニュージーランド牧草牛のインターネット販売を開始した旨発表しました。これにより、ニュージーランド牧草牛を全国の消費者にお届けすることが可能になりました。

JT JAPAN は NEWZEE というブランド名で 1996 年よりニュージーランド産食材の供給を開始し、東京の 5 つ星ホテルをはじめ、全国のホテルやレストランに高品質な製品を提供してきました。インターネット上での販売は現在、ニュージーランド牧草牛のみとなっていますが、今後はニュージーランド産の様々な食材（食肉、海鮮類、蜂蜜など）を順次追加していく予定です。また、牧草牛についても挽肉や薄切り肉などの販売を予定しています。

<http://www.newzee.jp/>

ビーフ アンド ラム ニュージーランド日本代表のジョン・ハンドルビーは次のように述べています。

「念願でしたニュージーランド牧草牛のインターネット販売が実現しましたことを、大変嬉しく思います。JT JAPAN が牧草牛のインターネット販売を開始した背景には、テレビなどで活躍されているイタリアンシェフ マリオ・フリットリ氏をはじめとする取引先での高い評判に加え、低脂肪・低カロリー・低コレステロールでヘルシーな赤身牛肉を求める消費者が増えていることにあると聞いております。牧草牛は栄養価の面でも体内吸収率の高い鉄分（ヘム鉄）が豊富であり、穀物飼育の牛肉よりもオメガ3脂肪酸を多く含むなど、美味しさはもちろんのこと健康にも良い食材となっています。今回、牧草牛を手軽にご家庭にお届けできるようになりましたので、鉄分不足の女性をはじめ、成長期のお子さまや健康に気を使われるご高齢の方への最適な食材として、牧草牛をより多くの消費者にお知らせし、JT JAPAN をサポートしてまいりたいと考えております。」

2012 年 12 月 21 日（金）

電気代の支払い平均約 100 ドルも増える

ビジネス・革新・雇用省の統計では、利用者が支払う電気料金は平均で年間約 117 ドル増えたことが分かった。このうち半分以上を占める 67 ドルの増加分は、送電と回線費用の値上げに伴うものである。

もっとも高額なのはノースランドで、電力供給会社 Top Energy は昨年の料金に 257 ドルを上乗せしている。この値上げは、ノースランドの Transpower 社が前年所有していた送電ネットワークを Top Energy 社が購入したため。ノースランドの回線はもともと利益が上がっておらず、また国で最も人口密度の低い地域が含まれるため、大きな値上げとなった。

担当者的話では、今後 2 年間はノースランドでの電気料金値上げはない予定。

社会 2012 年 12 月 23 日

旅行中に不当な支払いを請求された場合

銀行のオンブズマンによると、旅行者が暴力による脅迫で法外なクレジットカードの支払いを請求されるケースが発生しているという。

東欧を旅行したある男性が、身に覚えのないサービス料金として 1,600 ドルのクレジットカード請求をされた。オンブズマンによると、残念ながら脅迫による支払いでも、支払いに責任のあるのは本人であり、請求金額を銀行に返済する義務が発生するという。

チャージバックというポジションであれば、オンライン詐欺などの被害者は銀行に返金を求めてみることも可能だが、実際返金要求が通るのは困難であるという。

社会 2012 年 12 月 26 日

「ねじれ無視」で全層崩壊、ビル設計者を断罪 NZ地震

ニュージーランド (NZ) 政府の独立調査機関である王立委員会は、2011 年 2 月に同国クライストチャーチ市近郊で起こった地震で崩壊したカンタベリーテレビジョン (CTV) ビルの最終報告書を 2012 年 12 月 10 日に公表。全ての柱梁接合部が脆弱だったうえ、北面に突き出たコアと各階の床とを適切に接合していなかった点など、ずさんな実態も明らかになった。

CTV ビルは鉄筋コンクリート造の 6 階建てで 1988 年に完成した。地震時に周辺では水平方向に 700 ガル、上下方向に 800 ガルの加速度を観測。建物はコアだけ残して全層が積み重なるように崩れ、日本人留学生を含む 115 人が死亡した。

市の中心部で崩壊した鉄筋コンクリート造の建物は同ビルを含む 2 棟だけ。原因究明に関心が集まっていた。

王立委員会は CTV ビルの設計から建築確認、施工、その後の改修に至るまでの各段階で重大な欠陥があったと指摘した。まず設計では、南側に並んだ柱の変位量を過小に評価していた。さらに、コアと各階の床との結合力が当時の設計基準の半分にも満たなかった。

CTV ビルは北面のコアが地震時の水平力を主に負担する構造で、建物の重心と剛心が極端にずれていた。偏心量が大きいと、ねじれ振動が起りやすい。ところが、構造設計者は偏心量の大きなビルを手掛けた経験がなく、変形や荷重を適切に見込んでいなかった。

ニュージーランド行きフライト搭乗拒否約 1,500 人

昨年は 1,500 人以上の人が、パスポートが無効、必要なビザが無いなどの理由で、ニュージーランド行きフライトの搭乗を拒否されている。

ニュージーランド移民局によると、昨年は 4,800 万人がニュージーランドに入国しているが、これはオーストラリアからの入国が最も多い。

移民局は、入国時の審査条件に合わないとして1,429人がニュージーランド行きの飛行機に乗ることを許可されなかったとレポートしている。

拒否された人たちの多くは、中国、フィジー、インドから。また790人が入国時に拒否されたという。

社会 2013年1月7日

NZドル高かった2012年

2012年のニュージーランドドルは、1NZドルが米84.7セントに至るなど、1985年以来平均して最も高い外貨価値を記録した。

BNZの外貨為替専門家によると、NZドルは通常より変動も少なく、輸出業者が為替ヘッジを行うことも少なかったとのこと。

輸出業者は外貨で得た収入を自国貨幣に変換するとき、為替差損を被るリスクを回避するため、一定為替レートで変換する契約を結ぶことができる。

2013年もこのままニュージーランドドルが値上がり続ける場合、輸出収入は打撃を受けると予測されるとのこと。

政治/経済 2013年1月12日

ニュージーランド・メイドのスマートフォンゲーム大ブレイク

ニュージーランドのコンピュータプログラマーにデザインされたスマートフォンゲームが、発売から数日で世界で最も売れているゲームの一つになった。

Game Planet New Zealand社のエディターMatt McGuireによると、Blockheadsはアメリカ合衆国で3番目に売上げの高いゲームとなった他、いくつかの国々ではトップ売上げとなったという。

ホークスベイのプログラマーDavid FramptonがデザインしたBlockheadsは、材木や石など素材をツールにして、プレイヤーが世界を作るゲーム。これほど大きな成功を収めたニュージーランド人は、Frampton氏が初めてだろうという。

他にはSidheというニュージーランドの子会社が、英国のチャートでiPhoneのサッカーゲームで一位になったことがあるという。

社会 2013年1月20日

「ホビット」に「金返せ」の声！ ニュージーランドが補助金返済を要求

「ホビット 思いがけない冒険」の驚異的な興行成功を受け、ニュージーランドの当局は、ニュージーランドでの撮影に支払った補助金5,600万ドル（約49億円）の補助金を返済するよう映画製作会社に呼びかけたことが明らかになった。

ピーター・ジャクソン監督の「ホビット」3部作の第一弾は、これまでに世界興行収入10億ドル（約880億円）を稼ぎ出

し、昨年のも最も成功した映画のプロジェクトの一つとなっている。ニュージーランドの元副首相であるウィンストン・ピーターズ氏は、ワーナー・ブラザーズとMGMは、ニュージーランドに補助金を全額返済すべきではないかと示唆しているという。イギリスのガーディアン紙が報じている。

ピーターズ氏は「世界興行収入10億ドル以上を儲けたワーナー・ブラザーズは、ハリウッド映画界の大会社であり、ニュージーランドの納税者が負担した補助金を返済する必要がある」との声明を発表。彼の声明の中で、関係者は映画の誘致により、ニュージーランド人に3000もの職を提供すると言及したが、彼はこれらの仕事を実際にニュージーランド人によって行われたことにも疑問を呈している。

ワーナー・ブラザーズ、MGMそしてピーター・ジャクソンの製作チームは、中央ヨーロッパに撮影現場を移動する可能性があるとのめかした上で、ニュージーランドから資金を受け取ったということだ。「ホビット 思いがけない冒険」(12)そしてこれから続く「ホビット スマウグの荒らし場」(13)、「ホビット ゆきて帰りし物語」(14)3部作は、素晴らしい映画であることは間違いないだろうが、このようなきな臭い話については、ぜひ映画会社のスマートな解決策を披露してもらいたいものだ。

2013年1月20日(日)

求人ニュージーランド人優先

クライストチャーチ再建に関わる仕事の求人は、ニュージーランド人が優先的に就職できるよう、移民局が就労ビザの規則を変える予定。

カンタベリーにおいて雇用主が外国人を雇いたい場合は、政府の”Skills hub”にその仕事を登録しなくてはならなくなる。”Skills hub”は、ニュージーランド人をまず優先的に探す仕組み。この仕組みは、失業保険や補助金の受給者や訓練中の者に、求められている仕事を与える。対象者がいない場合は、外国からの移住者が就労できる。

ニュージーランド人に優先的に雇用の機会を与えるが、大工は海外からの求職者を採用しなくてはならない状態とのこと。あるコンサルタント会社の統計ではこの6~8カ月間で、70人が新たに雇用されたがその60パーセントはニュージーランド人だとのこと。

社会 2013年1月22日

ホワイト島噴火の危険性続く

地質・核科学研究所(GNS Science)によると、ホワイト島の噴火の危険性はまだ高いという。昨年8月の火山灰降灰や小さな噴火以来、ベイオブプレントティ沿岸の火山活動危険性は最も高いという。

25日には科学者たちが、火口で起きている現象を鮮明に知るために、火山上空から写真を撮った。GNSの火山学者Brad Scott氏によると、火山は未だ活動中で、噴火の恐れがある状態という。また12月から活動が弱まっている気配もないとのこと。

社会 2013年1月29日

タウマルヌイ高校 ホームステイ 写真集

古賀さんファミリー



外山さんファミリー & 桑原さん



村上さんファミリー



行天さんファミリー



すっかり仲良し♡



ホストの皆様
ありがとうございました！

第 237 回例会 クリスマス会

ピアノ伴奏の早川藍香さん



スペシャルゲストの樺田真須子さん



ピアノ演奏の村上祥子さん



第 238 回例会 タウマルヌイ高校生徒の交流会



連風揚げ

よさこい踊り

